





ザリー 「おっ。いいにおいがする。やつたあー。」の匂いたまらねー。」

いつのまに、空からするめが落ちてくるのが見えました。

もっち 「あつ。ザリー君。そんなもの食べたら危ないよ。空の方へ連れていかれちゃうよ。私何回も見てきたもん。」

ザリー 「いいんだもっち。これ食べられるな、どこでも行くよ。」

「おいらの母ちゃんは、人間に連れてこられたんだ。きっと、人間に連れてこられたものは、いつかまた、人間に連れていかれるのさ」

ザリーは、空くと隕つてゆきました。

もっち 「さよなら、ザリー君。」